

「人・社会・自然」ハーモニープロジェクト

住民主体で活性化を行う地域

美和

当会の活動はおかげさまで
丸10周年を迎えました！

2021年度活動報告会

2022.6.17(金) 美和工芸ふれあいセンター



森と地域の調和を考える会・「木の駅プロジェクト美和」実行委員会

— 目次 —

I. 2021年度活動概要報告	P.2	VI. 「特定非営利活動法人 美和の森」設立	P.27
1. 「木の駅プロジェクト美和」		VII. 常陸大宮市の宝（資源）	P.28
1) 出荷の状況	P.3	VIII. あれから10年 そしてこれから・・・	P.29
2) 出荷量の推移	P.4	IX. おわりに	P.30
3) 「モリ券」の発行・利用状況	P.5		
4) 木の駅PJ 第十九期、第二十期	P.6		
5) 「森林／環境教室」の開催	P.7		
6) 「木の駅プロジェクト美和」 の成果と課題	P.8		
2. 当会活動の様子	P.9～17		
3. イベント及びボランティア参加人数	P.18		
II. 2021年度活動計画と実績	P.19		
1. 当会の活動計画と実績	P.20～21		
III. 2022年度の活動計画	P.22		
1. 当会の今後の取り組み	P.23～24		
IV. 「SDGs」と当会の活動	P.25		
V. 当会の目指すところ	P.26		



2012.06.17 第一期スタート

I . 2021年度活動概要報告



I. 2021年度 活動概要報告

1. 「木の駅プロジェクト美和」

1) 出荷の状況

(単位 : m3)

期	出荷材	寄付材	ボランティア	新材	計
第十九期	61.94	0.0	0.0	0.0	61.94
第二十期	29.72	0.0	0.0	0.0	29.72
通期合計 (第1～20期)	3,012.52	165.64	177.71	22.52	3,378.39

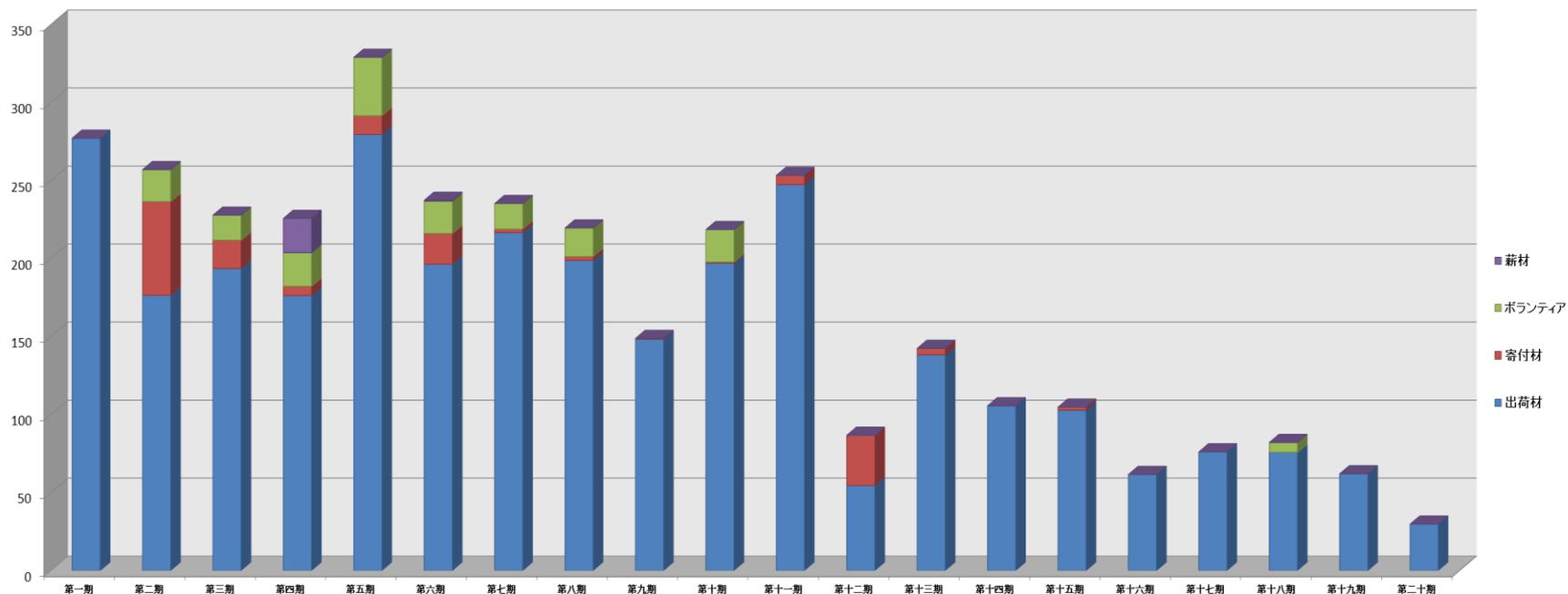
【実施期間】 第十九期 : 2021.6.26 ~2021.7.31 / 第二十期 : 2021.10.9~2022.2.28

I. 2021年度 活動概要報告

2) 出荷量の推移

通期出荷累計： **3,378.39** m3 軽トラ： **6,757** 台[※]

(単位：m3)



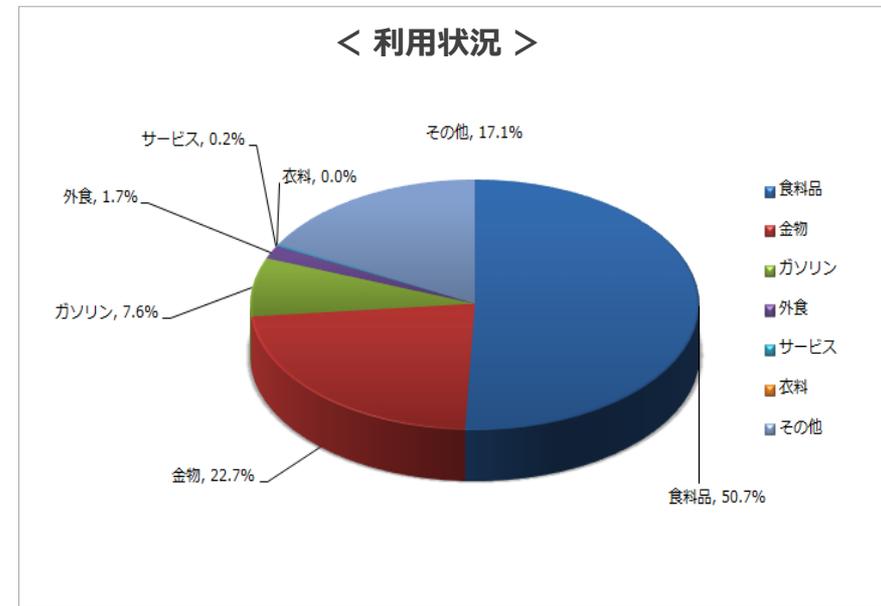
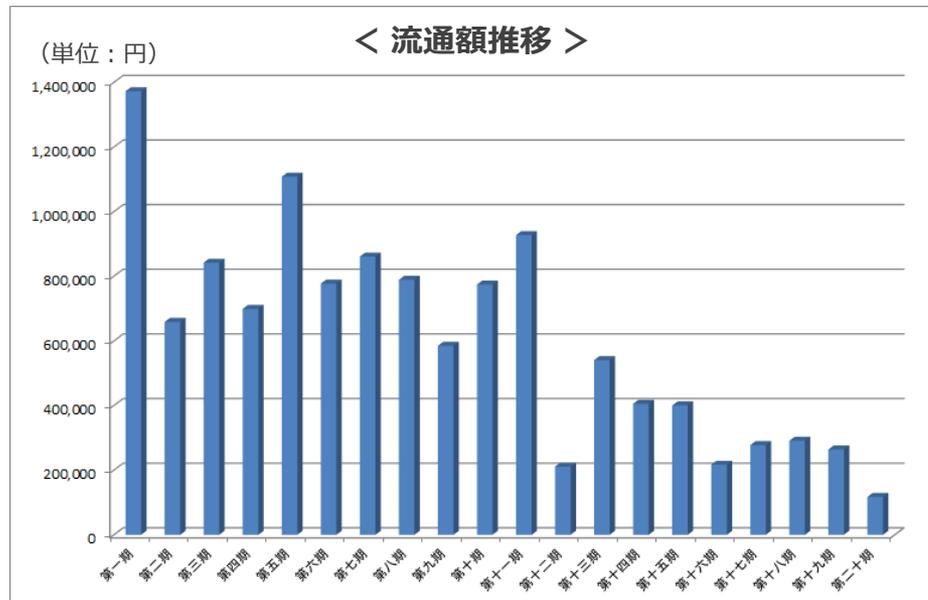
※軽トラ 1台あたり“0.5m3”で計算しています。

I. 2021年度 活動概要報告

3) 「モリ券」の発行・利用状況（経済効果）

※第1期のみ青モリ券は1,500円で発券

期	モリ券	青モリ券	赤モリ券	発行枚数	金額換算
第十九期	212 枚	26 枚	26 枚	264 枚	264,000円
第二十期	94 枚	11 枚	12 枚	117 枚	117,000円
通期合計	10,344 枚	1,120枚	671 枚	12,135 枚	12,163,500円



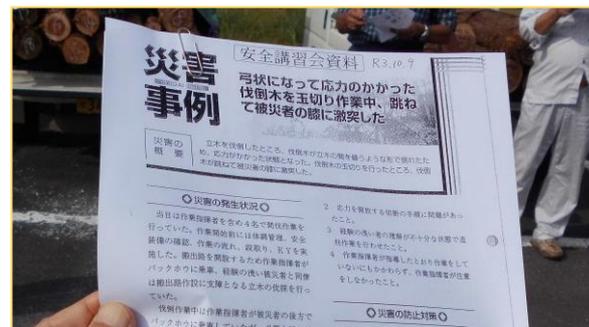
I. 2021年度 活動概要報告

4) 「木の駅プロジェクト美和」 第十九期、第二十期

2021.6.26 第十九期スタートの様子



2021.10.9 第二十期スタートの様子



I. 2021年度 活動概要報告

5) 「森林／環境教室」の開催



2021.12.9 美和小5年生工場見学の様子



2021.11.18 出前授業の様子



2021.12.16 美和小6年生間伐体験の様子



2021.12.16 美和小6年生間伐体験の様子（茨城新聞）

I . 2021年度 活動概要報告

6) 「木の駅プロジェクト美和」の成果と課題

【成果】

- ・ 第十九期、第二十期は合計で91.66立米をを出荷頂けた。
- ・ 道の駅みわ「北斗星」と連携して、前期に製造した良質な薪の販売を行い、累計で約50.6万円を売り上げることができた。毎年購入してくれる方もおり「美和の薪」の知名度は確実に向上している。尚、燃料費の高騰もあり、価格の見直しを進めている。
- ・ 去年はコロナ禍もあって1回しか実施できなかつた森林/環境教室であるが、間伐体験2回（美和小生5年生、6年生）、出前授業1回（美和小5年生）、宮の郷工場見学1回（美和小5年生）の計4回行った。森の働きや林業、そして環境とのかかわりについて子供達に興味を持ってもらうことができた。

【課題とその取り組み】

- ・ 作業中の安全確保を第一優先事項とする。期初講習は毎回継続する。
- ・ 高齢化もあり、出荷者数並びに出荷量が減少しているが、可能な限り続けていく方向で進めて行く。
- ・ 薪販売は好評を得ており、道の駅みわ「北斗星」の協力を得ながら継続的な販売ができるように取り組む。

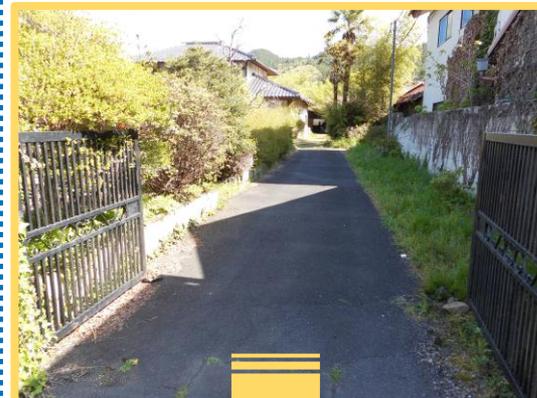


2022.2.19 薪販売会の様子

I. 2021年度 活動概要報告

2. 当会活動の様子 ～養浩園、大森邸等整備作業～

1) 作業の様子 (2021.4.24)



I . 2021年度 活動概要報告

2 . 当会活動の様子 ～養浩園、大森邸整備作業～

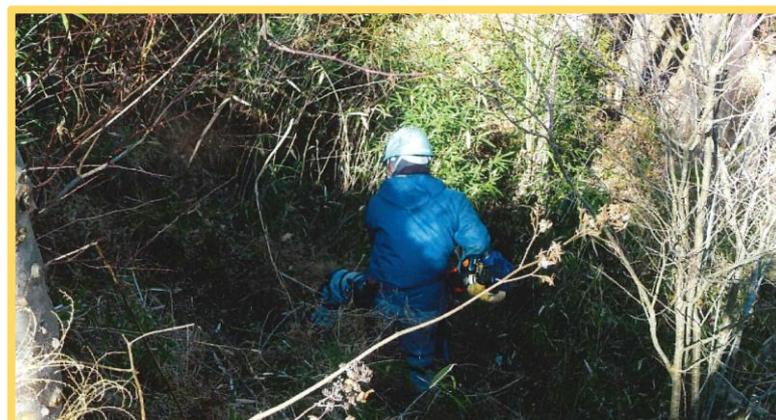
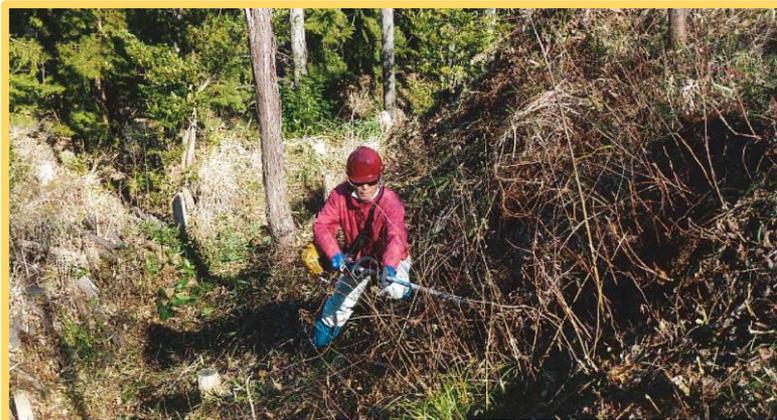
2) 作業の様子 (2021.12.4)



I. 2021年度 活動概要報告

2. 当会活動の様子 ～中世の山城整備～

3) 「河内城」整備作業 (2022.2.3)



I . 2021年度 活動概要報告

2 . 当会活動の様子 ～中世の山城整備～

4) 「高沢城」植樹祭 (2021.6.6)



I. 2021年度 活動概要報告

2. 当会活動の様子 ～中世の山城整備～

5) 「小田野城」整備作業 (2021.11.7)



I . 2021年度 活動概要報告

2 . 当会活動の様子 ～中世の山城整備～

6) 「檜沢城（案内板、補助ロープ施工）」作業（2021.7.16,18）



I. 2021年度 活動概要報告

2. 当会活動の様子 ～中世の山城整備～

7) 「高沢城」案内板設置作業 (2022.3.26)



I. 2021年度 活動概要報告

2. 当会活動の様子 ～中世の山城整備～

8) 案内看板へのポスト設置作業



I. 2021年度 活動概要報告

2. 当会活動の様子 ～その他活動～

9) 街並み保存事業への取り組み

2021.10.15～16 NOTE高部地区見学・説明会



2022. 1.29 NPO法人美和の森設立総会



I. 2021年度 活動概要報告

3. イベント及びボランティア参加人数

活動	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R01	2020 R02	2021 (R03)	延べ人数
イベント 参加者数	210	275	710	260	162	146	67	58	1,968名
ボランティ ア参加者数	284	265	204	178	207	262	171	147	1,921名

【成果】

前期に続き新型コロナウイルスの影響もあってイベント等は控えることとした。一方で屋外が中心となる作業はできるだけ実施したが、毎回多くの方々にボランティアとして参加頂き、大変心強い状況となっている。これらの活動が、地域コミュニティの活性化にもつながる良い機会となっていると思われる。

Ⅱ. 2021年度 活動計画と実績



Ⅱ. 2021年度 活動計画と実績

1. 当会の活動計画と実績 ①

活 動	取 組 み	目 標 / 実 績	評 価
木の駅プロジェクト美和	第十九期：2021年6月13日 ～ 7月31日 第二十期：2021年10月24日 ～2022年3月31日	目標：継続実施すること 実績：出荷量は減少傾向となっているが、継続できた	達成
森林教室	年3回 実施計画 近隣小・中学校への参加働きかけ ※森林教室と環境教育は関係しているため、併せて実施する。	目標：3回 実績：4回 参加者延べ人数：62名 (美和小：5年生,6年生)	達成
環境教育			
整備済み城郭整備	整備：2021年度 地元有志を含めた作業の実施	継続整備 継続実施できた	達成
街並み保存事業	岡山邸整備：2021年度 (「養浩園」、大森邸整備など)	継続整備 継続実施できた	達成

Ⅱ. 2021年度 活動計画と実績

1. 当会の活動計画と実績 ②

活 動	計画・取り組み	目 標／実 績	評価
薪販売事業	道の駅みわ「北斗星」とのタイアップによる営業展開と新たな販売方法やルートを開拓（継続）	目標：薪製造と販売 実績：薪製造、販売 販売額 50.6万円	達成
イベントの実施	①中世の城郭ツアー	コロナ禍を考慮し、 イベントを控えたため 一部のみ実施となった	未達
	②歴史探索ツアー 「檜沢城・桧沢地区文化財巡り」		
歴史文化工芸 伝承活用事業	地域の歴史及び歴史的価値遺産の発掘と活用、鷺子和紙復活、昔の農具等の活用	継続検討中	継続
地域活性化の 計画立案策定	当会のこれまでの活動を基に、これからの地域活性化モデルについて検討、計画する。	継続検討中	継続

Ⅲ. 2022年度 活動計画



Ⅲ. 2022年度 活動計画

1. 当会の今後の取り組み ①

活 動	取り組み	目 標
木の駅プロジェクト 美和	第二十一期：2022年6月26日 ～8月31日 第二十二期：2022年10月9日 ～2023年3月31日	継続実施を優先
森林教室・環境教育	年3回 実施予定 ※新型コロナの状況を踏まえ開催を決定する	実施回数3回
中世の城郭整備 活用事業	新発見「(仮称) 柏木城」調査研究 上檜沢城 1. 2 整備	調査研究・整備
	整備済み城郭再整備計画	立案・実施
	高部館・向館、河内城・向館、小田野城、檜沢城、高沢城の維持作業	継続整備

Ⅲ. 2022年度 活動計画

1. 当会の今後の取り組み ②

活 動	取 組 み	目 標
街並み保存事業	岡山邸「養浩園」整備：6月11日実施済 11月頃予定 大森邸整備：（同上）	継続整備
薪製造・販売事業	薪製造：6月～8月 美和の薪販売会：11月26日（土）予定 ※スウェーデントーチの製造販売を検討	シーズン前に 薪販売イベント開催
イベントの実施	①国の登録有形文化財ツアー ②歴史探索ツアー「高澤城」 ③歴史探索ツアー 継続実施	①2022年7月頃 ②～③随時計画
地域活性化の計画立案策定	当会のこれまでの活動を基に、これからの地域活性化モデルについて検討、計画する（古民家再生、サイクリストへのアプローチ）。	年度内完成予定

IV. 「SDGs(持続可能な開発目標)」と当会の活動



「持続可能な開発目標」とは、2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。私たちの活動もこの取り組みにつながっています。

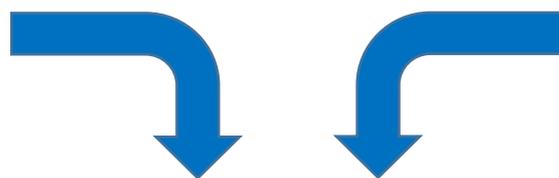
(参考) 「地方創生に向けた自治体SDGsの推進について」
平成29年12月 内閣府地方創生推進事務局 作成

<当会の取り組みと関連する主なテーマ>

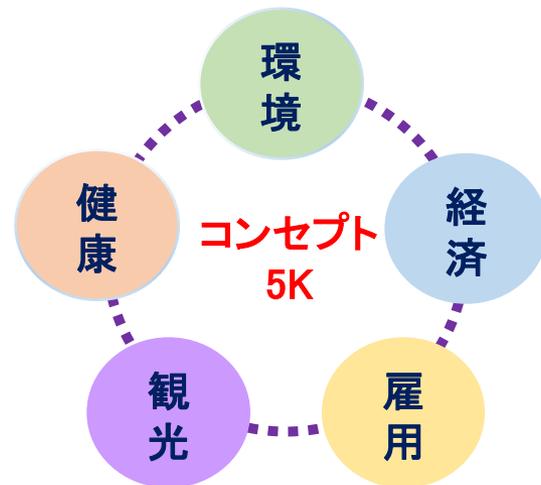


V. 当会の目指すところ

「豊かな自然」 森の恵み	
「里山」 日本の原風景	
「歴史」 歴史的価値	



地域資源を活用すべく
アイデアを出し合って
地域の活性化を図る



「エネルギー」
環境負荷を抑えた暮らし

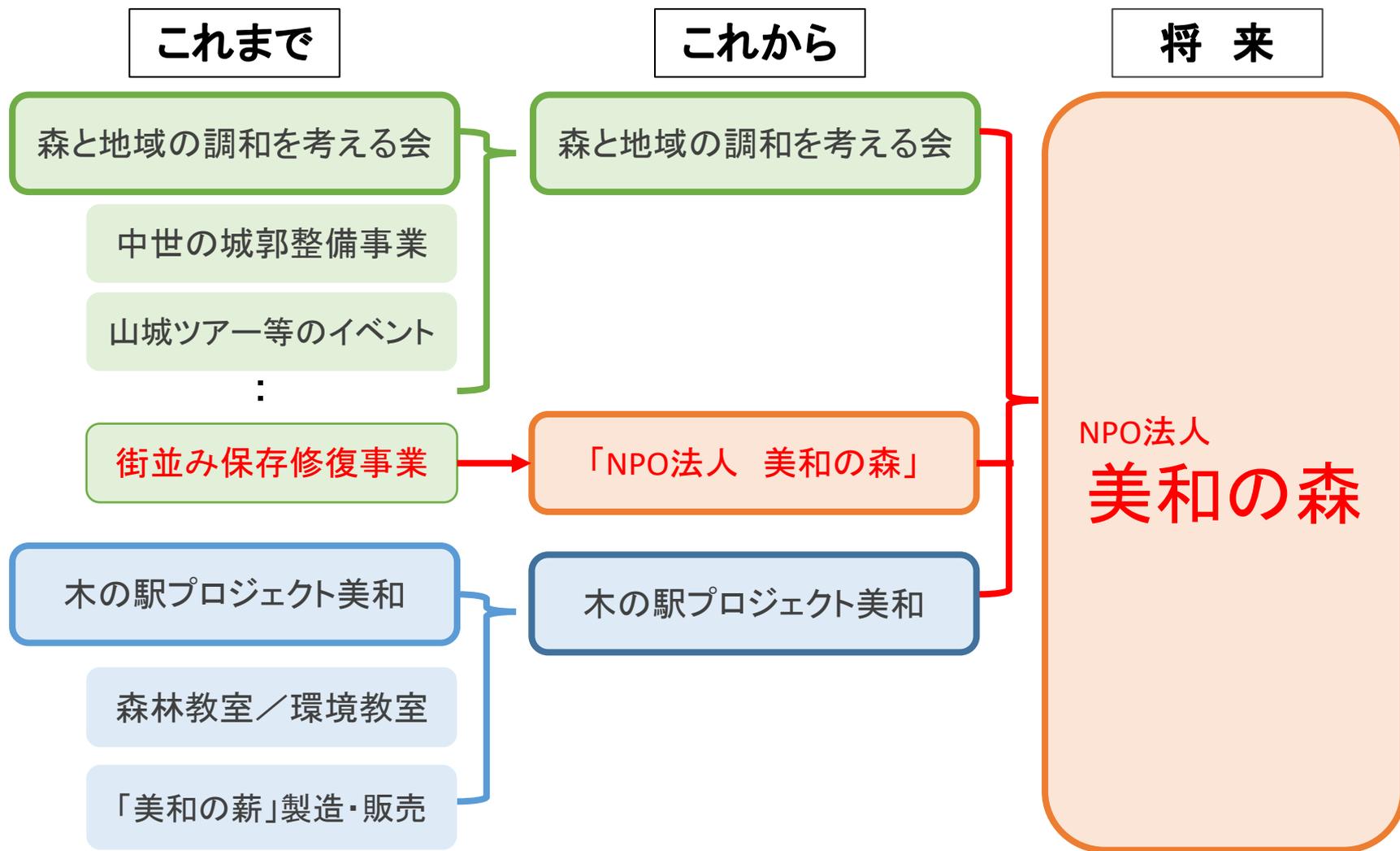
「食」
自給自足も可能な暮らし

「生活」
心豊かな暮らし



全ての人々に降り注ぐように

VI. 「特定非営利活動法人 美和の森」設立



VII. 常陸大宮市の宝(資源)

観光資源となるような自然

歴史的価値のある品物

史跡などの歴史が感じられる場所、建物

豊富にある資源

城跡

伝統的な仕事、行事

サイクリングやウォーキングに適したルート

由緒ある神社、仏閣

自然を生かした遊びやスポーツができる場所



VIII. あれから10年 そしてこれから・・・



Ⅸ. おわりに

当会の活動は、地域の皆様のご支援とご協力に支えられ、丸10年という節目を迎えることができました。代表以下メンバーもここまでできるとは思ってもおりませんでした。これもひとえに皆様方のご協力の賜物と思っております。改めまして日頃のご協力に感謝申し上げます。

当会は次の10年に向けて、活動内容の更なる充実を図るべく、

「NPO法人 美和の森」を設立いたしました。

私どもの活動は、美和地域の「宝」をつなぎ、この地域全体に活気と明るさが広がることを目指した取り組みです。これまでの活動への評価は様々あるかと思いますが、皆様の声を活かして、活動の成果と充実感を共有できるよう、地域の活性化に貢献してまいります。

皆様には、引き続き、当会活動へのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

尚、ご一緒に活動頂ける方を募集しております。是非、当会までご一報ください。お待ちしております。

森と地域の調和を考える会

「木の駅プロジェクト美和」実行委員会 一同